

組立・施工説明書

梁延長セット SS ポートGⅢ ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ



・鼻隠しを変更しました。

《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本説明書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

はじめにお読みください

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- ・本説明書は「梁延長セット SSポートGⅢ／ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ」の組み立て、施工について説明しています。
本体に同梱の組立・施工説明書をあわせて参照してください。
- ・本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- ・本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本説明書内の表記

警告／注意／お願い

- ・商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表 記	意 味
 警 告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 注 意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お 願 い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じられる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表 記	意 味
	商品や作業の変更点
	作業するうえで必要な情報
	知っておくと便利な情報
	必ずシーリングをする箇所
	電動ドライバーの使用禁止
	電気工事士の資格が必要な作業

- ・一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。
- ・本説明書内の図は、7800延長の場合で示しています。

もくじ

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
作業前の確認	P.3
同梱一覧 ◀改訂	P.3
全体構成図 ◀改訂	P.4
基礎工事の準備	P.5
墨出し	P.5
本体フレームの施工	P.6
梁の連結（7800 延長の場合）	P.6
梁の部品付け	P.8
柱・梁の取り付け	P.12
屋根部の施工	P.13
梁延長カバーの取り付け ◀改訂	P.13
鼻隠し（側面）の取り付け ◀改訂	P.14
寸法図	P.16
寸法図 ◀改訂	P.16

安全にお取り扱いいただくために

作業前に確認してください

- 本体に同梱の組立・施工説明書を参照してください。



- 重量物(25kg超)の施工に関しては、必ず小型移動式クレーンなど適切な揚重機械を用いて施工してください。

■1本あたり25kg超になる部材

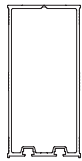
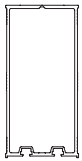
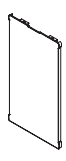
		梁重量 (kg)
延長用梁	6m用	40
	7.8m用	97

作業前の確認

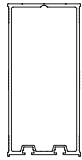
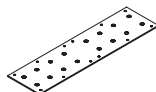
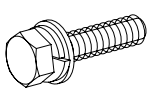
改訂

同梱一覧

■梁(梁延長用 L=6000)

姿 図				
品 名	梁	梁	キャップ	キャップ
品 番	3K-73164	3K-83380	3K-33432	3K-32422
MCD-(DS)BJ-60BV	1	—	2	—
MCD-(DS)BJ-60F	—	1	—	2
備 考	260見付	280見付	260見付	280見付

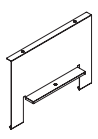
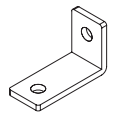
■梁(梁延長用 L=1800)

姿 図				
品 名	梁	梁連結カバー (下部用)	座金組込六角ボルト (M10×40)	トラスタッピンねじ (φ5×16)
品 番	3K-83380	7K-10878	7K-11348	ET-5016
MCD-(DS)BE18F	1	1	22	26
備 考	280見付	—	梁組み立て用	梁連結金具・ カバー取り付け用

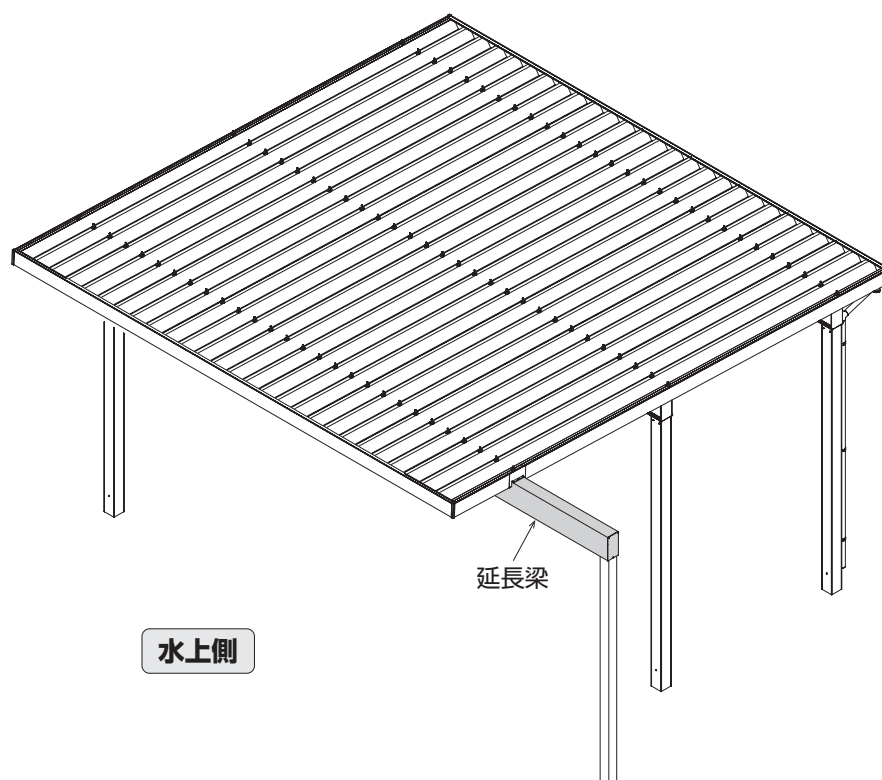
■梁連結カバー

姿 図		
品 名	梁連結カバー	薄バインドリルねじ (φ4×16)
品 番	3K-33433	4K-16374
MCD-(DS)EQ-A-1V	2	4
備 考	—	—

■梁延長部品

姿 図			
品 名	梁延長カバー	ブラケット	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング剤塗布)
品 番	7K-14021	7K-14030	DN-4019-SC
MCD-(DS)ERV2	1	2	7
備 考	—	—	—

全体構成図



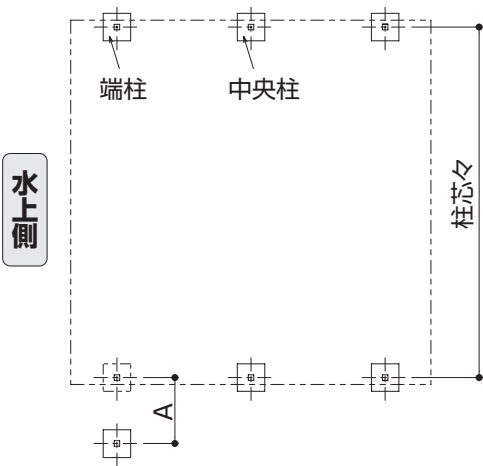
基礎工事の準備

墨出し

1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、標準柱位置からA寸法移動して墨出しを行ってください。



- 柱位置を決める際、家屋の屋根、軒などにカーポートが干渉しないように考慮してください。
- 梁延長は、どの列でも施工可能です。
- 張り出しは片側のみとしてください。



■6000延長の場合

呼称間口	A
30	3000
36	2400

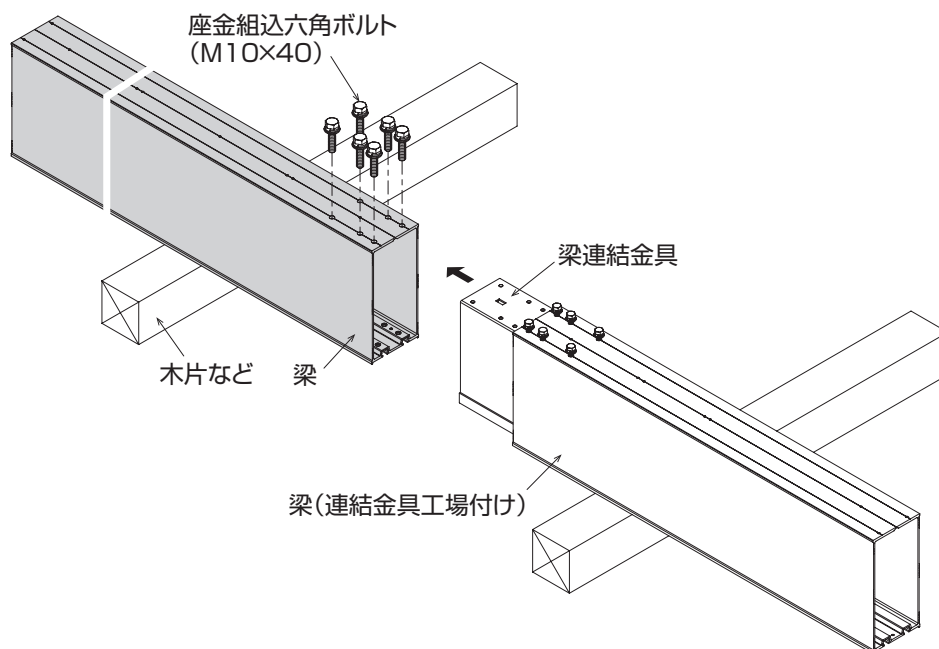
■7800延長の場合

呼称間口	A
30	4800
36	4200
48	3000
55	2400
60	1800

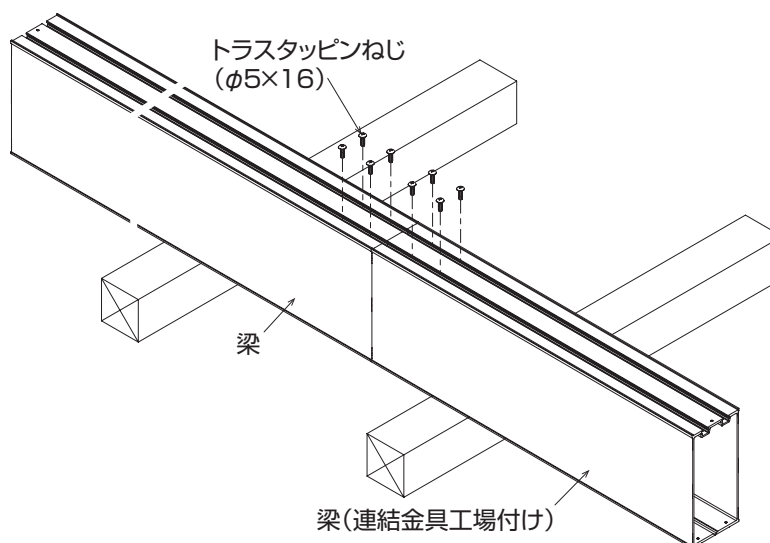
本体フレームの施工

梁の連結（7800 延長の場合）

1 梁連結金具を梁に挿入し、梁上部を仮固定してください。



2 梁下部を固定してください。

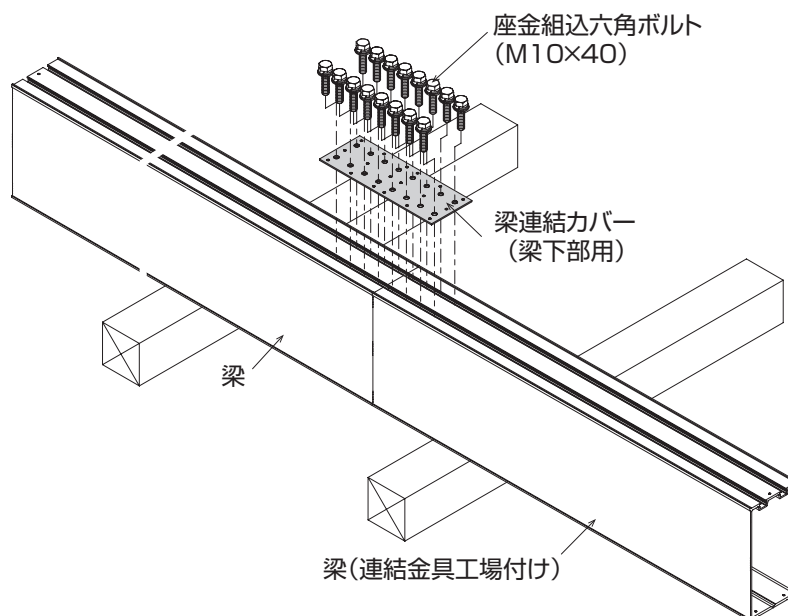


3 梁連結力バー（梁下部用）を連結部に取り付けてください。

① 梁連結力バー（梁下部用）を梁連結部に取り付けてください。

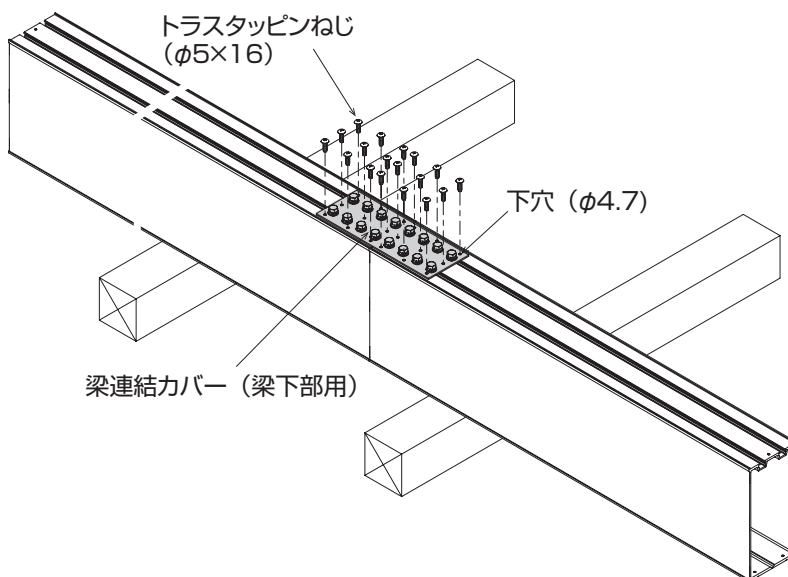


- 各ボルトは、対角均等に締め付けることで連結部のズレを抑制できます。



② 梁に下穴（φ4.7）を梁にあけてください。

③ 梁連結力バー（梁下部用）を梁連結部に固定してください。

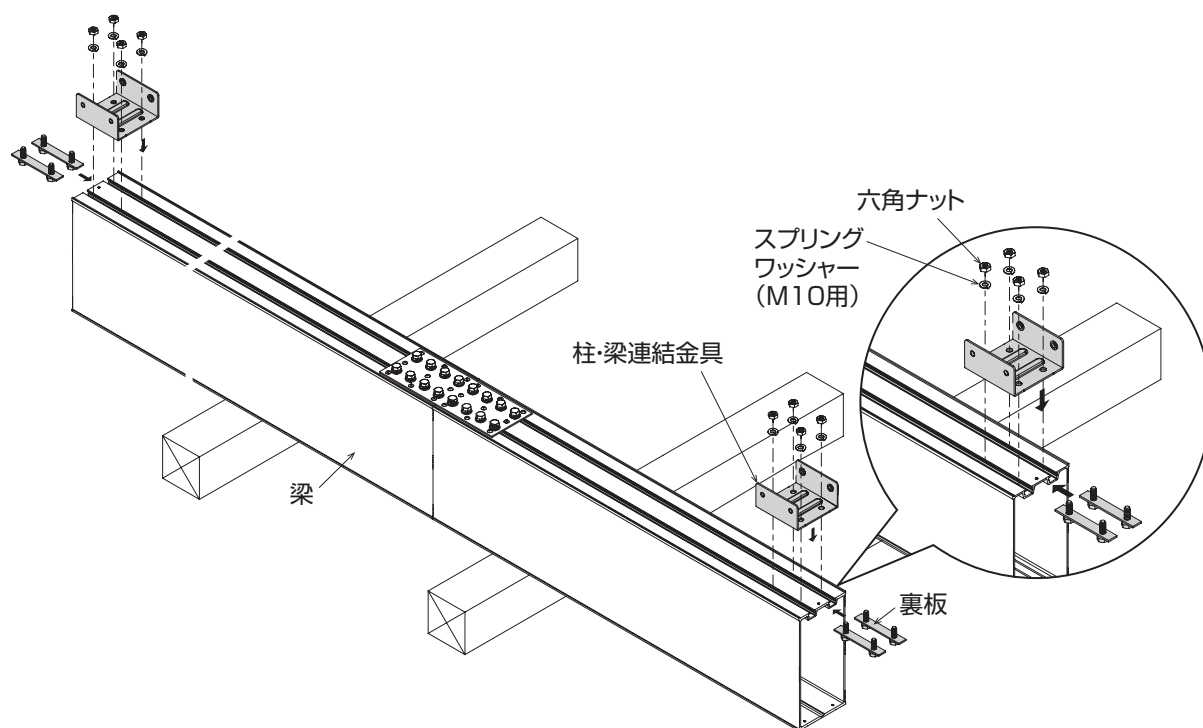
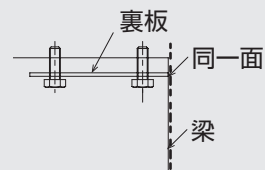


梁の部品付け

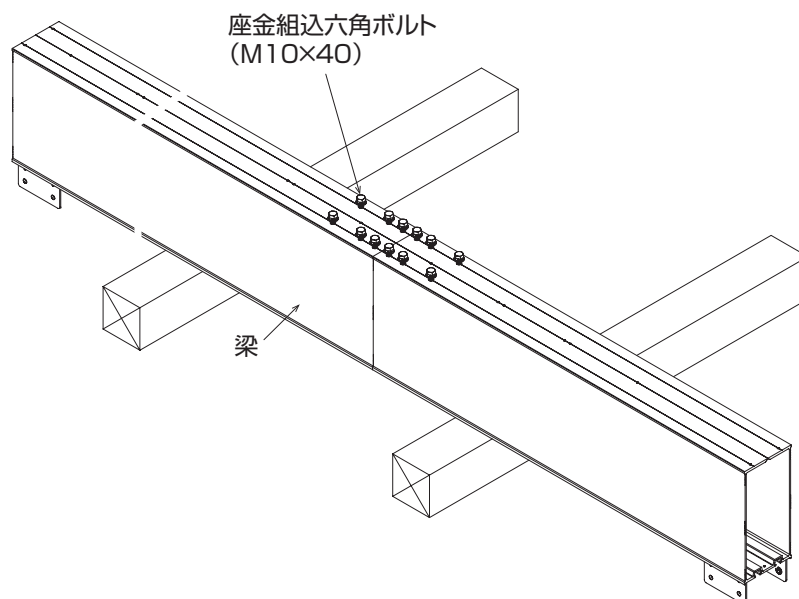
1 裏板を挿入し、柱・梁連結金具を梁に取り付けてください。



・裏板は梁端部と同一面にしてください。

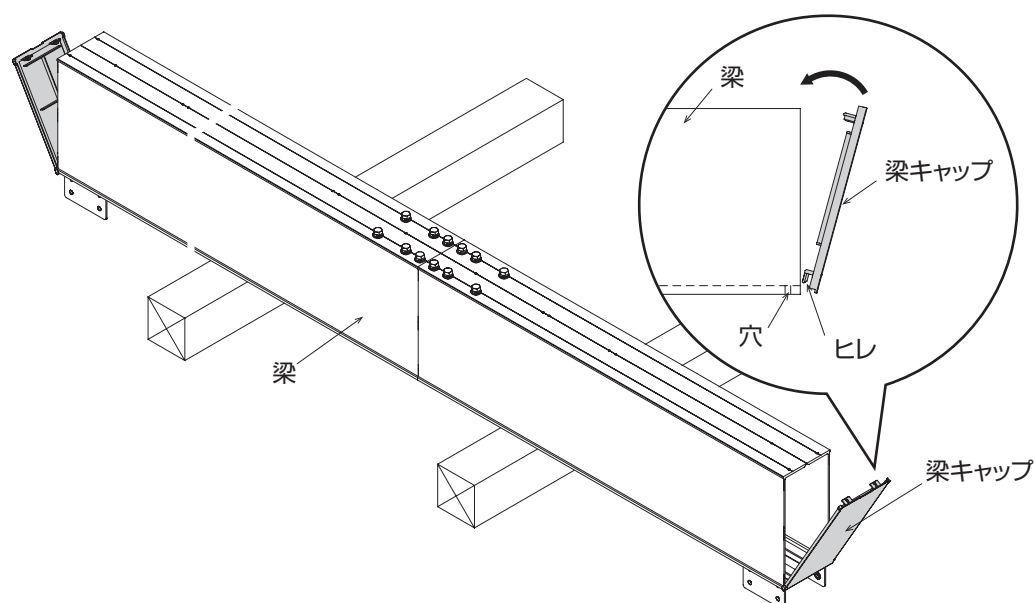


2 梁上部（連結部）を本固定してください。

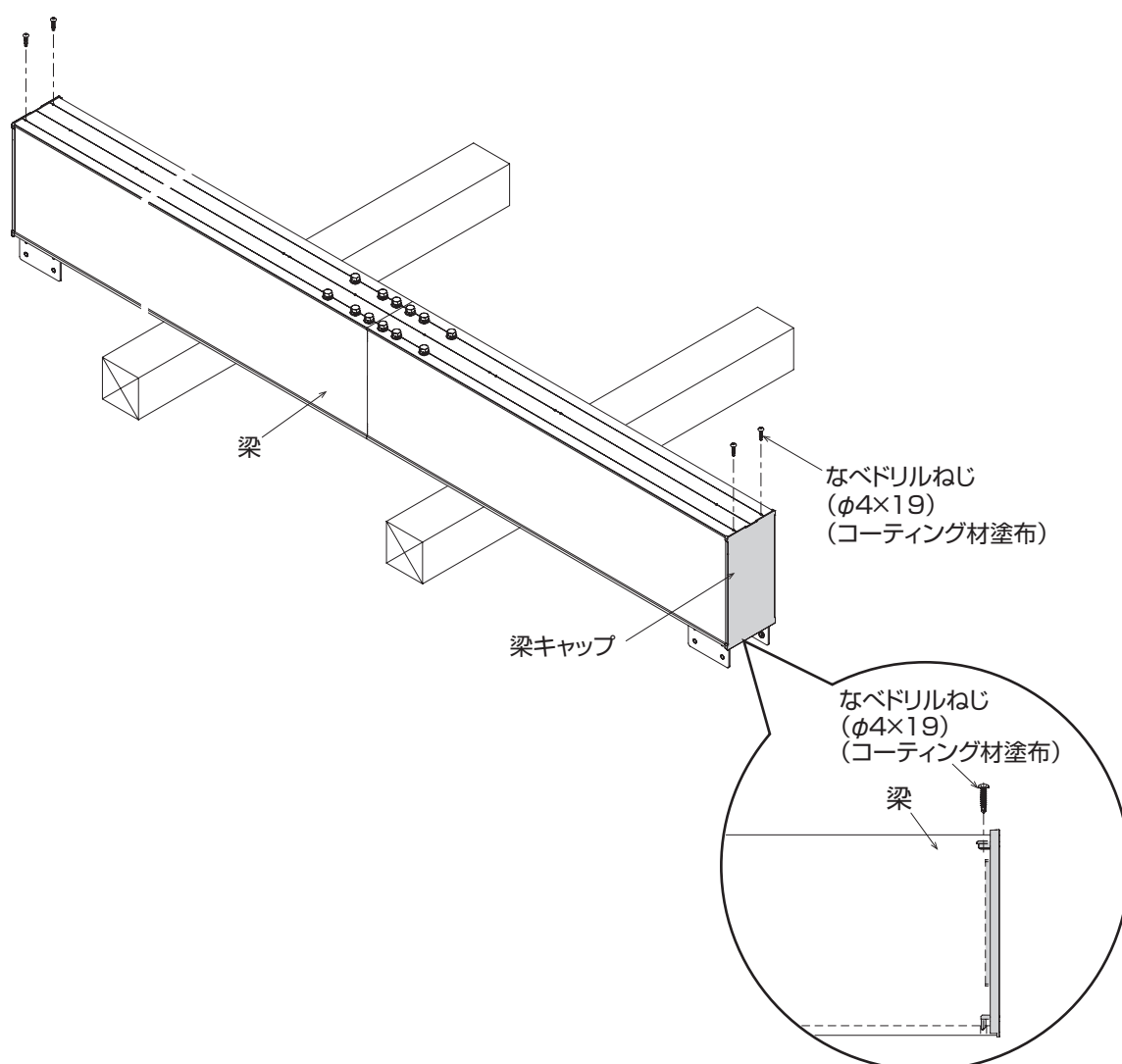


3 梁キャップを梁に取り付けてください。

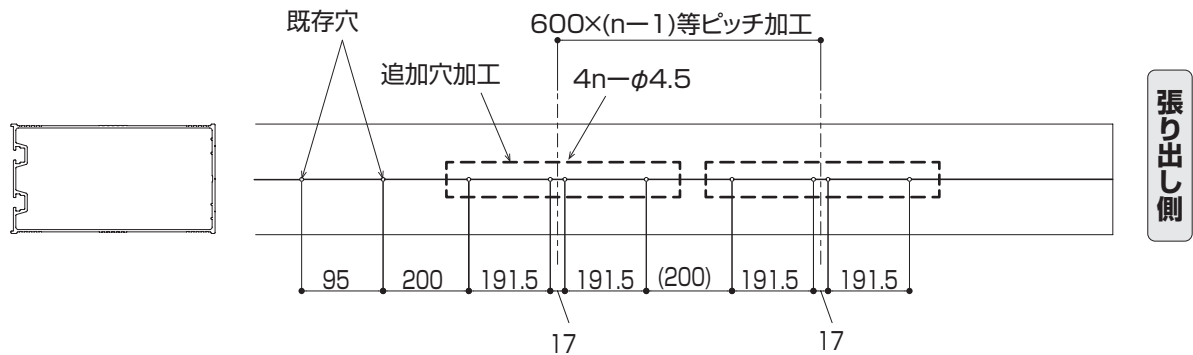
- ① 下部のヒレを梁の穴に挿入してください。
- ② 梁キャップを梁に押しあててください。



③ 梁キャップをねじで固定してください。

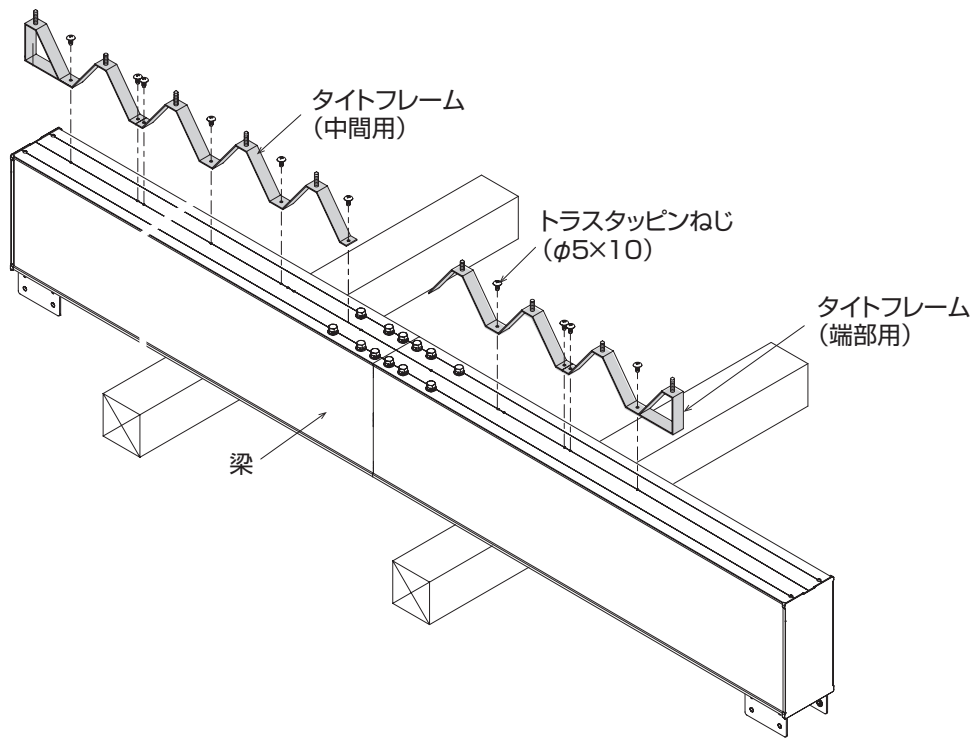


4 梁にタイトフレーム取り付け用の下穴（φ4.5）を追加してください。



n個数表		梁長さ	
		6000	7800
呼称幅 D	30	—	—
	36	1	1
	48	—	3
	55	—	4
	60	—	5

5 タイトフレーム（中間部/端部用）を梁に取り付けてください。

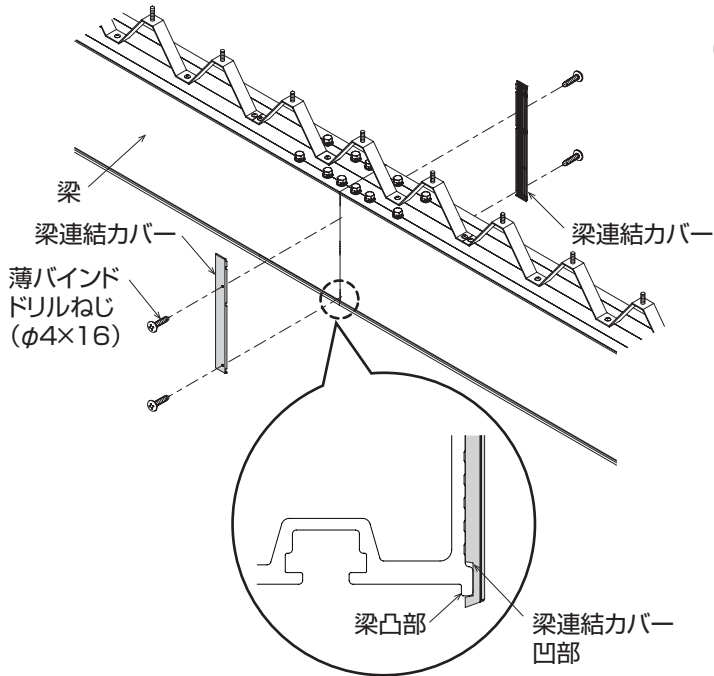


7800 延長の場合

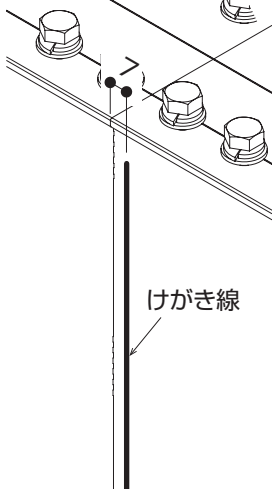
1 梁連結カバーを連結部に取り付けてください。



・梁連結カバーの凹部を梁の凸部にあわせて取り付けてください。

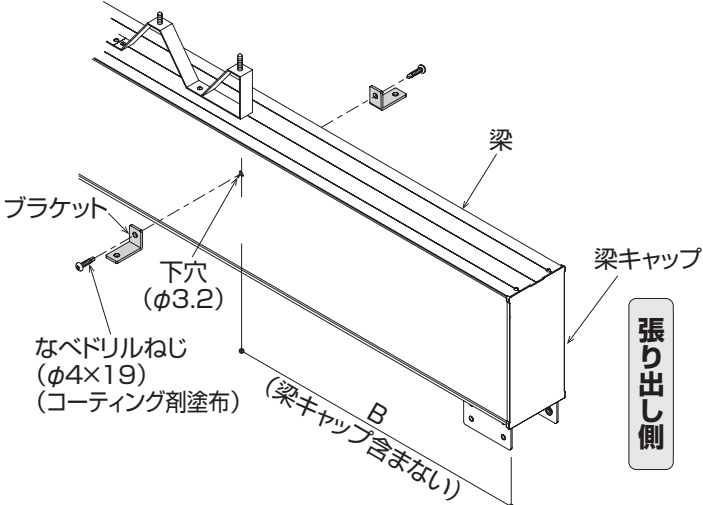
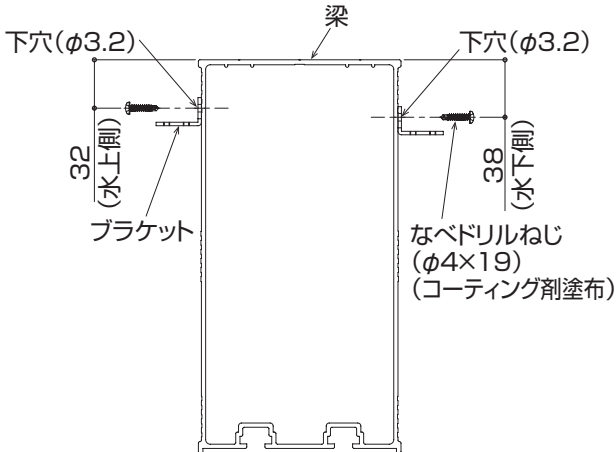


・梁連結部の右側に7mmの位置にけがき線を引くと位置合わせがしやすくなります。



2 張り出し側の梁に下穴 (φ3.2) をあけてください。

3 ブラケットを梁に取り付けてください。

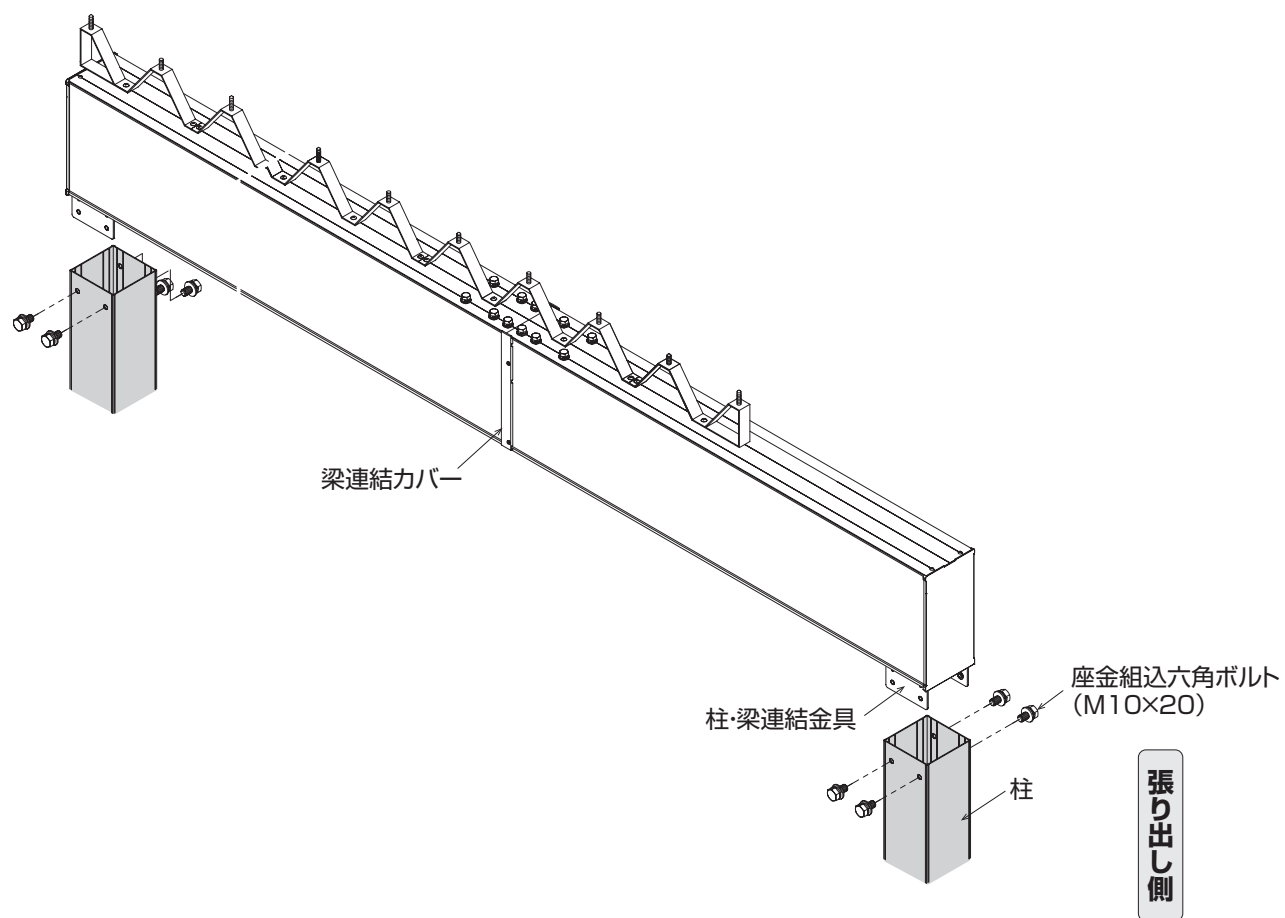


B寸法		梁長さ	
		6000	7800
呼称幅D	30	2967	4767
	36	2367	4167
	48	—	2967
	55	—	2367
	60	—	1767

柱・梁の取り付け

1 柱・梁連結金具を柱に挿入してください。

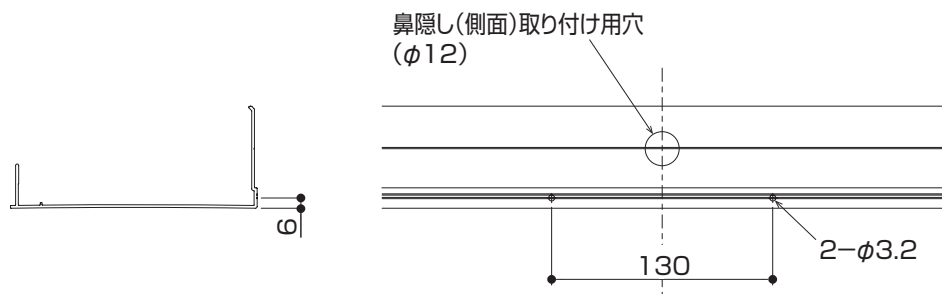
2 梁を柱に取り付けてください。



梁延長カバーの取り付け

1 張り出し側の鼻隠し（側面）を加工してください。

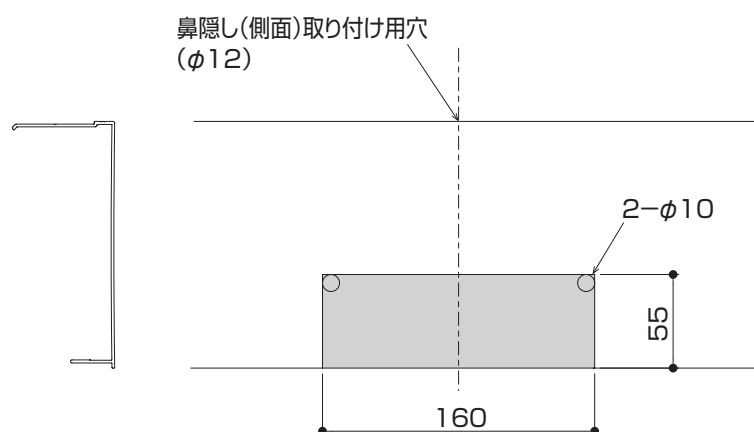
- ①鼻隠し（側面）取り付け用穴（ $\phi 12$ ）にあわせて、穴加工（ $\phi 3.2$ ）してください。



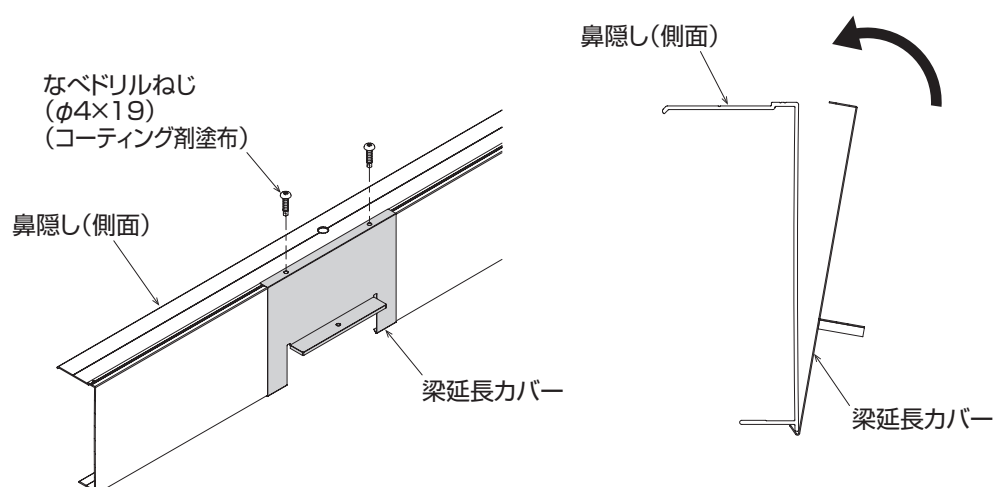
- ②鼻隠し（側面）取り付け用穴（ $\phi 12$ ）にあわせて、切り欠き位置をけがいてください。

- ③切り欠き部のコーナー部に穴加工（ $\phi 10$ ）してください。

- ④切り欠き部を金のか、ジクソーなどで切り取ってください。

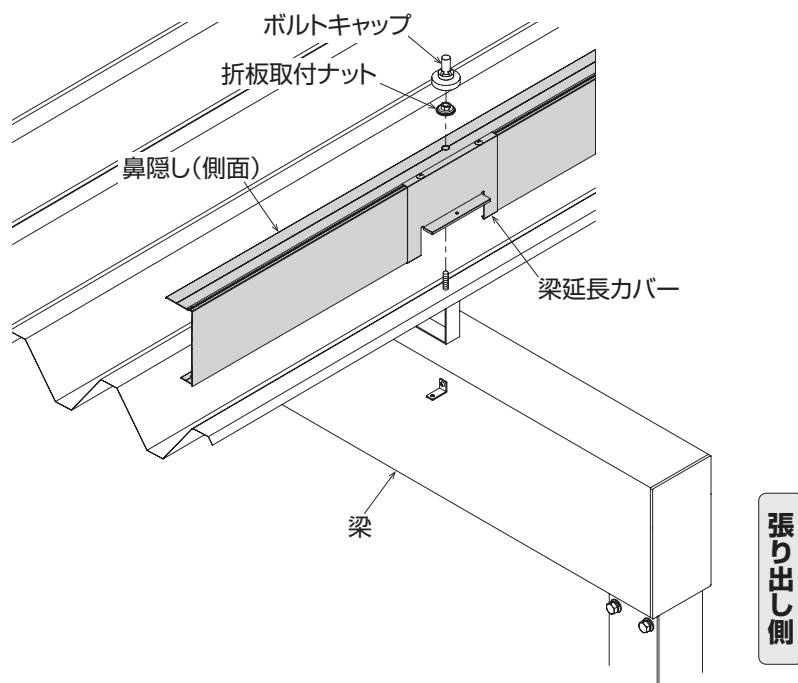


2 梁延長カバーを鼻隠し（側面）に取り付けてください。

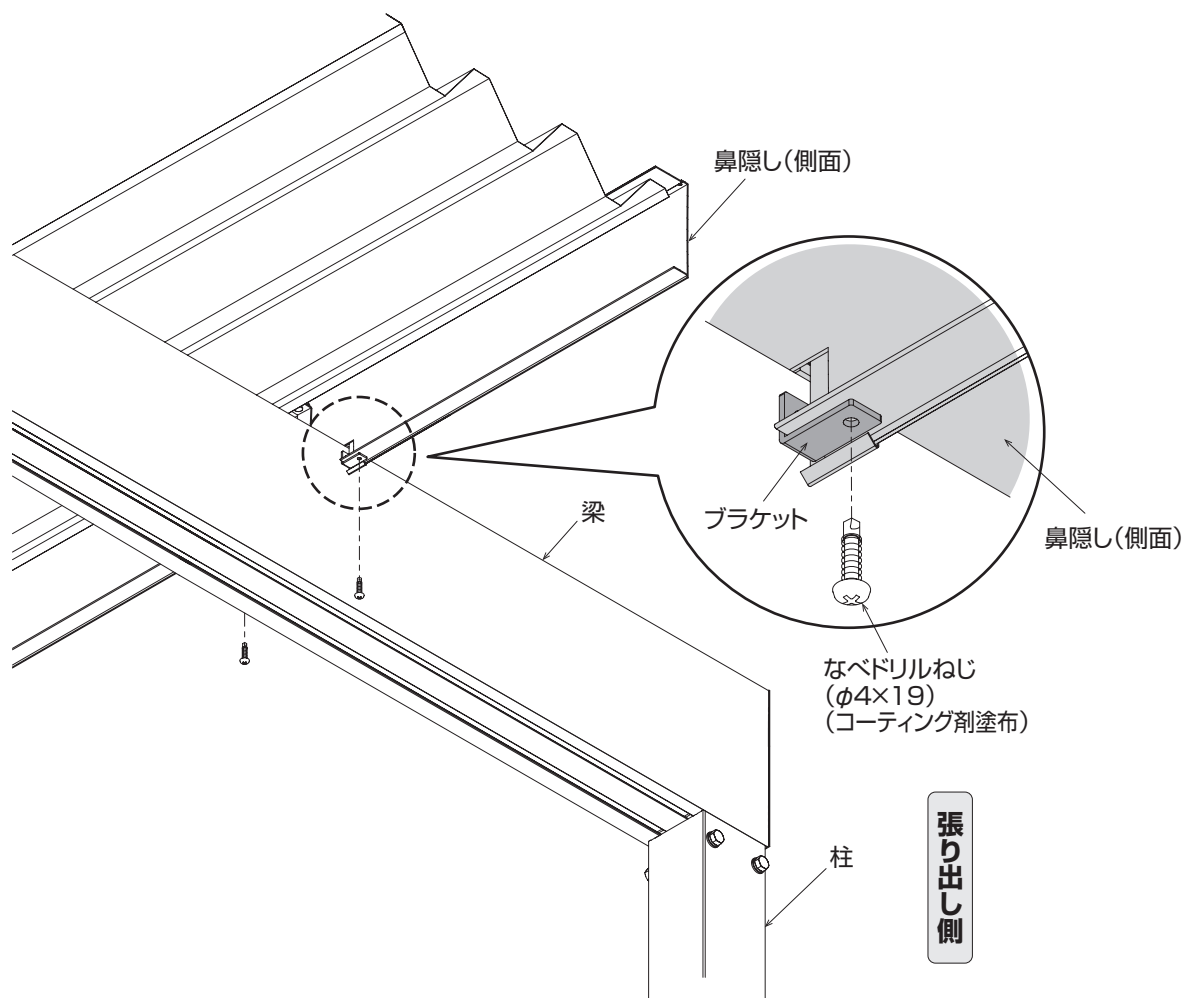


鼻隠し（側面）の取り付け

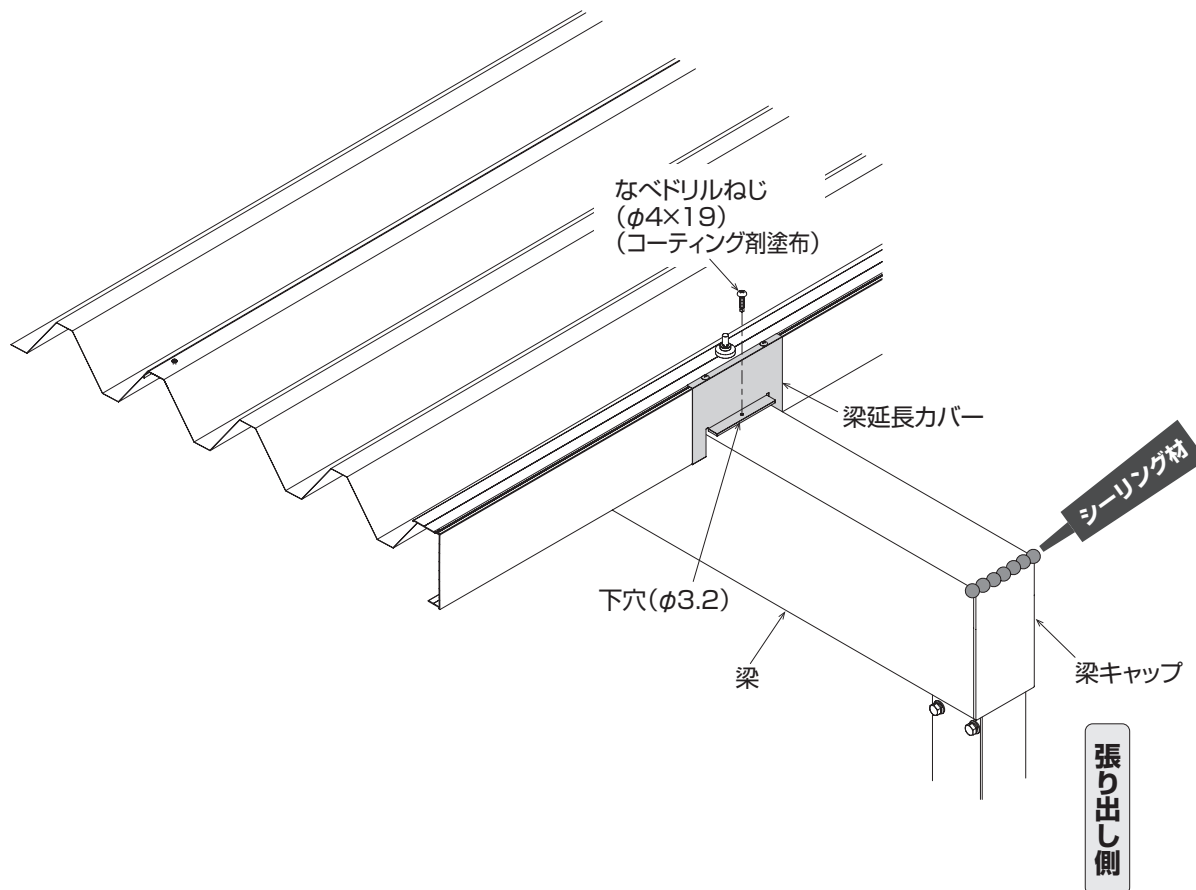
- 1 鼻隠し（側面）を折板取付ナットで固定し、木づちなどでボルトキャップをたたき込んでください。



- 2 鼻隠し（側面）端部側をブラケットに固定してください。



- 3** 梁に下穴（ $\phi 3.2$ ）をあけてください。
- 4** 梁延長カバーを梁に固定してください。
- 5** 梁キャップ上面にシーリングしてください。



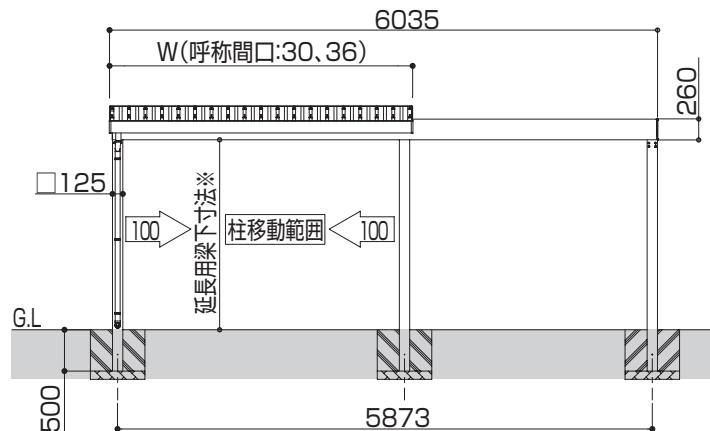
寸法図

改訂

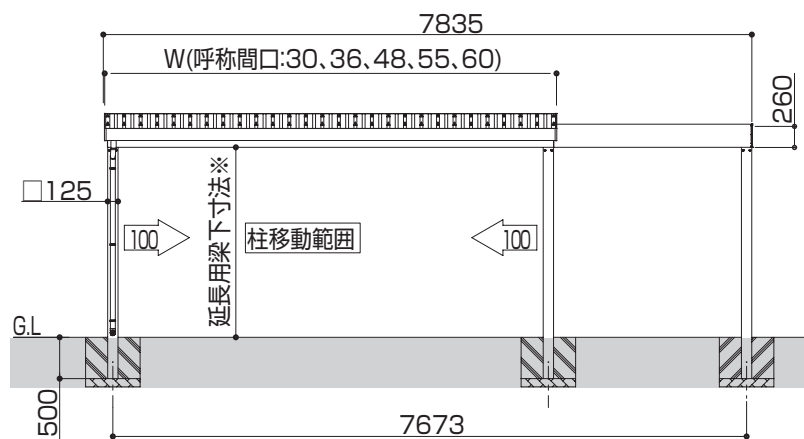
寸法図

・図は、水下側の梁を延長した場合を示しています。

● 6000延長の場合



● 7800延長の場合



呼称間口	W
30	3070
36	3670
48	4870
55	5470
60	6070

[illegible]

●表示内容は 2026 年 6 月現在のものです。

Printed in Japan

DS

No.	XAAAA-K25-647B2	01
-----	-----------------	----